

平成29年4月定例教育委員会 会議録

1 開催期日 平成29年4月25日(火)

開会 午後1時30分

閉会 午後3時00分

2 開催場所 役場 3階 会議室

3 出席者名 委員長 諸橋 志津子
委員 不二井 悟 史
委員 宮下 静 子
委員 原田 光 雄
委員(教育長) 布施 東 雄

局長 菅谷 吉 晴
局参事 泊 昌 司
次長 荒木 秀 人
係長 朝倉 恵 子

4 議 件

報告第 5号 穴水町就学指導委員会委員の委嘱について
報告第 6号 穴水町修学資金選考委員会委員の委嘱について
報告第 7号 穴水町立小中学校評議員の委嘱について
報告第 8号 穴水町立小中学校学校医の委嘱について
報告第 9号 穴水町社会教育委員の委嘱について
報告第10号 穴水町青少年育成センター育成員の委嘱について
報告第11号 穴水町文化財保護審議会委員の委嘱について
報告第12号 穴水町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について
報告第13号 穴水町埋蔵文化財調査委員会委員の委嘱について
報告第14号 穴水町男女共同参画推進委員会委員の委嘱について
報告第15号 穴水町立公民館運営審議会委員の委嘱について
報告第16号 穴水町立図書館協議会委員の委嘱について
報告第17号 能登中居鋳物館運営委員会委員の委嘱について
報告第18号 穴水町スポーツ推進委員の委嘱について
報告第19号 穴水町スポーツ振興審議会委員の委嘱について
協議第 6号 区域外就学について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から、入学式についての報告、見守り隊の対面式についての報告、全国町村教育長会理事会についての報告、県市町教育委員会連合会理事会並びに市町教育委員会教育長会議についての報告、B&G財団「修繕決定書授与式」についての報告並びに電気自動車貸与の報告、穴水小学校の「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰についての報告があり、

会議録署名員に宮下委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第5号から報告第19号及び協議第6号について説明があり、質疑応答が行われ、承認及び決定されました。

次に、5月の定例教育委員会の開催期日を5月25日（木）午後1時30分と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

4月 定例教育委員会議事録

ー 委員長挨拶 ー

4月に入りまして、事務局の異動があり、菅谷局長、泊参事をお迎えし、荒木さん、朝倉さんと、本年度、また、どうぞ、よろしくお願ひしたいと思います。

春がとても深くなりまして、木々の緑がとても冴えるような、そういう季節になってまいりました。先般、4月17日、18日と県基礎学力調査、全国学力・学習状況調査と、小学校、中学校それぞれに学校の学力のあり方を問う、そういうテストがあったかと思ひます。昨年度、当町ではかなり子ども達の学習能力の高さを示した結果が得られまして、学校の学力の底上げという部分で、とても頑張っている姿を見せていただいた気がします。今年度、スタートはそういう学力調査という部分になりましたが、それもひとえには、事務局の学校教育に対する様々な支援の賜物だと思ひています。

今年度は、昨年度改訂しました穴水町の教育振興基本計画に則って、今年度の穴水の教育が行われていくわけですが、事務局共々、私たち教育委員も出来る限り学校現場のサポート、そして、また微々たる力ですが、事務局の皆さんの支えができればと思ひています。

今年度一年間、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

ー 教育長報告 ー

また29年度が4月からスタートしたわけですが、今年度は1日2日が土日という休みで、5日には入学式という、たいへん学校現場では慌ただしいスタートであったかと思ひます。

その後、13日に向洋小学校で見守り隊との対面式がありまして、穴水小学校では21日に行われました。向洋小学校では、児童の代表の挨拶を西森君がしました。

(途中省略)

次に、14日に、全国町村教育長会理事会があり参加してきました。午前中は総会の役割分担等や、中身の検討をして、午後は文部科学省の行政説明です。4月当初の総会ということで、主なものだけお話しすると、新学習指導要領の完全実施に向けてのスケジュールがあり、平成32年オリンピックの年から小学校が完全実施になり、1年後の33年に中学校、34年から高等学校が学年進行でやるという形になっている中で、皆さんご存知のように、小学校に英語が入ることと、道徳が教科化されたのが一番の問題です。今年度の途中に新しい道徳の教科書採択協議会が全国で行われます。全部で8社あると聞いています。英語は今やっている英語活動的なものを3・4年生でやる、5・6年生では教科として授業に入るということで、3年生が1時間、4年生から英語を含めると2時間、時間数が増えるということになります。時間数でいく

とそういうことになります。小学校4年生から中学校3年生まで年間1015時間という形になっていくのですが、その間の英語をどんな形で持っていくか、文部科学省も日本の国の小学校の先生は全部英語の授業が出来るようにならないといけないと言っていますが、現実的にはなかなか難しくてALTとのコラボとか、2時間増やすのが無理なので、1時間は授業で増やすとしても、後の1時間を15分3回の短いサテライト的なものでやればどうかと、いろいろな先行事例等もありますので、今年1年間かけてそこは研究しなければならないし、また他県の先生方のお話を聞いていると、ALTを増員するとか、中学校の英語の免許を持っている先生を専科教員として迎え入れる等、いろんなやり方をするのでしようけれど、全般的に英語専門の先生の数が少ないのをどうカバーするのか、県が行う研修と共にここ3年間でそういう体制を作っていかなければいけないでしょうということ。しっかりやっているのは特例校、金沢市でやっていますが、あのように認めればなるのですが、全国でそのような形にはなかなかできない。これからいろんな情報交換をしながらやっていく形になるのだらうと思いますが、文部科学省はいわゆるALTを増やすとかの予算的なバックアップはするのでしょうか、まだまだ具体的にこんなふうになっていけば良いなという素案とスケジュールを示しただけです。もうひとつの大きな目玉は、いわゆるアクティブラーニングと言いますか、今の授業のあり方までも学習指導要領の中に入れて、最終的には将来を担う若い子ども達をどのような人間に育てるかというのですが、主体的、対話的な深い学びにより、変化の激しい現代社会を生きる力を身に付ける学習を行うということだそう。

それを受けて17日に県市町教育委員会連合会理事会がありました。これも今年から新しい教育委員会制度に則って今まで教育委員長が出ていた会議を全て教育長が理事として運営していくという形に変わりました。今年から今回の議案の後ろに教育委員会連合会の総会の案がありますが、その会の運営も教育長がやっていくという形になるのだらうと思います。ここが大きく変わったところです。

その日の午後、市町教育長会と県教委との意見交換会というのがありまして、年に1回だけ谷本知事が見えて意見交換の場を設けているいろいろな話をするのですが、知事は新体制での知事の立場というものについてお話がありました。「私も責任は同じようにあるのだけど、より深く教育について考えていかなければならない立場になったので学力等も含めて頑張ってください。」というお話でした。また、県の教育委員会の機構も変えましたということで、今ある県教育センターを県教育総合研修センターと名称を変え、若手教員が非常に増えてきたものの研修や育成をしていく、またプラス師範塾とコラボしてベテラン教授の技術や伝承に取り組みたいというお話と、スポーツ関係で、体力向上と競技力アップを基にスポーツ健康課というのが教育委員会の所管の中にあっただけですが、それを教育委員会から離してスポーツ振興課というものを起ち上げたということで、ここが主になってアスリートの育成をしていく。教育委員会の体育関係は、学校スポーツのみを担当するということになりました。学校スポーツといいますと高校にも高体連の優秀な選手が沢山いるのですが、その分についてはお互い協力して強化していく等そういう形に変えましたということです。学力向上については、知事は知事の立場で、県外から各企業の職員や家族が来た場合にやっぱり学力の高い県であるということであれば、お子さん達も家族にとっても大きなメリットになるので、そのような観点からいっても学力は落とさないように頑張してほしいというお話が主であったかと思えます。

その後、田中教育長が挨拶も含めいろいろな意見交換をしたのですが、1番目は教員の多忙化についてですが、今、小中も県立高校も含めて教員の勤務の実態調査をやっていきます。何月何日、誰が何時まで業務していたかという報告を求められて、1年間位やるのでしようけれど、2、3の市町ではタイムレコーダーを入れて、それがコンピューターと連動していて、すぐに出てくるそういう機械があるそうですが、そういうふうになりましたということでしたが、田中教育長は、いずれ国もそういうことについていろいろな手立てをするだらうから、県がするとなっても、今、先に入れてしまうとそのような予算は付きませんということでしたので、しばらく様子を見ようということでした。その前に穴水町も校長協議会があつて、多忙化について話があり、入れてほしいということで検討しようということになっていましたが、しばらく様子を見ると

言いますか、そうせざるをえないのではないかと考えていますし、校長協議会でもお話ししたら、それでは仕方がないということでした。多忙化について田中教育長は、県の事務局で教員の研修をどの程度、どんなふうに行っているのか全国調査をしたということです。石川県の実態を比べると、係が変わる毎にいろいろな研修を企画して、それには定員と会場のキャパも含めて、定員がこれだけでということをやっているのですが、学校現場に募集をかけると忙しいのなかなか参加者が集まらない場合があると、再度募集をして学校から1人出してくださいという形で行っているのです。このことについて如何なものかと思うということで、全国の学力上位県を調べてみるとほとんど研修をやっていない。研修が非常に少ない。で学力は高い。ということは、石川県は一生懸命研修をして学力が上がったのかなと思っていたら、そんなこともないのではないかと。私は心の中で、やっぱり先生方は学校の中に居て生徒と向き合う時間が長ければ長いほど子どもはちゃんと育っていく部分があるのではないかと考えて聞いていました。石川県のやっている研修の量は大都市圏並みの研修を行っています。これはもう少し整理をして、そのことについて田中教育長は2年間かけて何か変えなければいけない。結局、量を少なくしなければならないとお話されていたのが印象的でした。それとプラス若手教員の育成ですが、これをどうやって効率的にやっていくかということが、これが一番多忙化を解消する一つの手段でないかというお話をしてくださったのが印象的でした。

本日の午後、B&Gの本部から古山専務理事が見えて町長にB&G体育館の修繕決定書を授与するセレモニーがあります。また今年も、先日、B&Gから電気自動車を3年間無償貸与していただきました。これは、141の応募があつて、毎年60台ほど支給しているのしょうけれど、今年、穴水町が貸与を受けました。

また、穴水小学校が「子どもの読書活動優秀実践校」で文部科学大臣の表彰を受けて、先日、大間校長が文部科学省まで行ってきました。

大間校長の感想は、会場の後ろの方に読書活動をしている様子がパネルに貼ってある市があったそうですが、私たちはそんな大きな市に負けられないだけの予算をもらっているということがわかりましたということでした。9日に県に報告に行き、その後、町長に報告したいと思っています。

以上です。

諸橋委員長 皆さん、教育長のお話の中で何かありましたらご質問ください。
ごさいませんでしょうか。

不二井委員 昨日、NHKのテレビに出っていましたね。

教 育 長 一日取材に入るので。
山邊さんが一生懸命にやってくださった結果だと思います。

原 田 委 員 町長や教育長、事務局が係わって充実していてやってきていることが成果として出てきていると思いますし、以前は他市町でも限られた財政でやってきていてあまり充実していない原因であつたりしたのですが、ただ国語力等と様々なことをいうのですが、保育園児もプルトへ行つて本を借りてくる、そういう下地がないと小学校、中学校には活かされないと思いますし、この機会に継続してさらにプラスαで増やしていくのもいいのではないかともあります。学校図書指導できる資格を持った人を常時配属することが重要な働きであり、行政の方も理解していただいて、更に図書の充実を図ってほしいので、今後ともよろしく願いいたします。

諸橋委員長 地域の方々がボランティアとして読み聞かせに入ったり、素話をしに入ったりという、保育所、小学校、中学校という、その一つの連携プレーが読書量を増やす一助になっていると思います。中学生に読み聞かせと思うのですが、やはり集中力が高まるという統計も出ているのだそうです。今回の穴水小学校の読書量が認められたということは嬉しいことだと思います。

－ 議事 －

諸橋委員長 報告第5号から報告第19号まで人事案件ですので、一括でお願いいたします。

事務局 長 報告第5号から報告第19号について説明

諸橋委員長 事務局より説明がありましたが、委員の皆さん、何かございませんでしょうか。無いようでしたら、次に協議第6号についてお願いいたします。

事務局 長 協議第6号「区域外就学について」説明

諸橋委員長 皆さんいかがでしょうか。何かございませんでしょうか。

原田委員 よろしいかと思えます。

諸橋委員長 では向洋小学校の件に関しましては、決定ということですか。では、次にその他へいきます。いじめ・不登校です。

朝倉係長 (詳細説明)

諸橋委員長 他にありませんでしょうか。

(途中省略)

諸橋委員長 ありがとうございました。
続いて、よろしくお願いいたします。

荒木次長 石川県教育委員教育委員会連合会定期総会です。
5月9日火曜日、総会の前に12時30分から教育委員代表者会がありまして、諸橋委員長の出席ですが、では集合時間を何時にすればよろしいでしょうか。

事務局 長 そうですね、9時30分に役場前でお願いいたします。

諸橋委員長 では9時30分でお願いいたします。
その他は、他にございませんでしょうか。
では、5月の行事予定です。

荒木次長 (5月行事予定について説明)

諸橋教育長 付け加え等ございますか。
郡の学校教育振興会総会は2年目で、次は能登町ですね。
では次回の定例教育委員会の日程です。

(日程調整)

諸橋委員長 では、次回の定例教育委員会は、5月25日(木)午後1時30分から行います。
よろしくお願いいたします。
他にありませんか。

(途中省略)

諸橋委員長 大型連休に入りますので、交通事故等無いように、またPTA会長の不祥事もありましたので
子どもたちが人間不信にならないように、またご指導のほどを、よろしくお願いいたします。
以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。

以上

穴水町教育委員会会議規則(昭和31年教育委員会規則第2号)第15条第2項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員(教育長)
